

キッズみんなの日記



1月号
 マラソン大会
 十二月六日(火)に学校でマラソン大会がありました。

新年明けましておめでとございます。本年も昨年引き続き「キッズみんなの日記」を愛読の程宜しくお願い申し上げます。

昨年は東日本大震災に始まり、日本人としての責務が問われる年だったように思います。悲しみの多かった年でしたが、日本人の強さや素晴らしさもまた改めて感じられました。梨セミでも多くの募金が集まりましたね。今年は、新大阪府知事や国政の動きからも目が離せません。大変な時だからこそ、政治に関心を持ち、日本が正しく、平和で幸せな国へと変化することを切に願っています。

さて、キッズのみならずにとっては、学年最終学期。後悔のないよう全力で学習に取り組み、未来の明るい日本を担う学力と精神力を養ってくださる。

優秀作品紹介

★等身大の素直な言葉で
 生き生きとした文章に★

おんせん

わたしは、パパとママといっしょに、おんせんにいきました。

まず、パパといっしょにおんせんにはいりました。しょうがぶるとテレビとおんせんがあるよ。

おんせん、さいこう。(小一・KNさん)

★段落分けて

大きなお風呂は気持ちが良いですよ。家族で温泉とは羨ましい限りです。Nちゃんの一年生らしいかわいい感想「おんせん、さいこう。」という言葉が温かな家族行事を引き立たせています。

スツキリとした文章に★

わたしは、二十位以内に入れた。わたしは、二十位以内に入れた。わたしは、二十位以内に入れた。わたしは、二十位以内に入れた。



はじまつたら、校庭二周してから外を走りまわりました。外に出たら少しづつつかれてしまいました。

わたしは、十八位でした。四年生になりました。もっと走るのが速くなりたいです。(小三・WRさん)

「概要」→「マラソンの様子」→「結果と今後の目標」と段落構成が実に見事です。今年の目標、二十位以内を達成して偉かったですね。頑張り屋さんのRちゃんなら、きっと来年も目標を達成するでしょうね。

ドッチボールの見学

私は、ドッチボールの見学に行きました。高学年のしあいで、玉がすごく速くて、いっぱい動いていました。けれども、決勝せんまではいけませんで見学してあらためて、自分も高学年の人たちみたいになりたいと思いました。(小三・YNさん)



高学年の試合を観て、たくさんのことを学びましたね。球の速さ、キャッチする技術、自分たちとの違いに圧倒された様子がよく伝わってきます。最後の一文もNちゃんの向上心の高さが表れています。

マラソン大会

今日、マラソン大会がありました。外は寒くて自信がなくなりました。いよいよ、四年生の番がきて、どきどきしていました。

「位置について、ドン。」

と関根先生が言って、ピストルを鳴らしました。女子のみんなはいっせいに走ったので、私は転びそうになりました。校庭一周走って、学校を出ました。みんなのお母さんがおうえんをしてくれたので元気が出ました。もう、その時は、足がいたくてつかれていました。

ゴールした時は、千花先生に、「二十八位！」

と言われました。カードをもらった時はみんなブロックべいの上にすわっていました。その時に、「〇〇ちゃん、何位？」

と言われたので、「二十八位だよ。」と答えました。

教室にもどったら、完走賞をもらいました。そこにはタイムも書かれました。タイムは、五分三十一秒一六と書いてありました。目標にはとどかなかつたけれど、うれしかったです。(小四・OMさん)



気持ちの変化を見事に表現していますね。Mちゃんが、寒さにめげそうになったこと、お母さんたちの声援に励まされたこと、足がいたくなったこと、完走できて達成感を味わったこと。セリフや会話文も効果的に使えています。お見事！

たん生曰パーティー

ぼくは、十一月十六日がたん生曰で、十一月二十日にパーティーをやりました。

たん生曰プレゼントはたくさんもらいました。お父さんには、ゲームソフトのイナズマイレブストライカーズをもらいました。お母さんには、ハイパーヨーヨー、おばあちゃんには、ポケモンカードなどをもらいました。

パーティーは「花ぜん」でごはんを食べました。まずは、まぐろを食べ、うどんも食べました。おいしかったです。

こんどは、クリスマスが楽しみです。(小五・MR君)



男の子が夢中になっているものばかり。プレゼントを前にしたR君の笑顔が目につかぶようです。たくさんのプレゼントに家族との食事、素敵な誕生日パーティーになりましたね。お誕生日おめでとう！

歯医者

今日は、歯医者に行く日です。いつも、きょうせいそうちのちようせつだけでした。だから、全然こわくありませんでした。けれど、急に先生に、「今日、歯をぬくからね。」

と言われてすごくいやな気分になりました。さすががとてました。上のは二回目なので、なれてはいました。でも、急に言われたのでびっくりしました。



ぬいた後は少し痛かったけど、すぐにおさまりました。私は、もう二度と歯をぬきたくないと思いました。

(小五・OHさん)

大人でも歯医者へ行くのは憂鬱です。急に歯を抜くと言われてはHちゃんも驚き嫌な気分になるのも無理はありませんね。驚きや嫌だった気持ちを、理由を述べることによって読み手に上手に伝えていきます。

☆☆☆気持ちの変化や高ぶりを生き生きと☆☆☆

欠席したマラソン大会

今日、早朝から大雨でマラソン大会に出ないことになりました。ちょっと残念です。でも、雨でもマラソン大会は行われました。今まで、ずっと練習していたのに残念です。

しかし、マラソン大会の途中で時間を計る機械がこわれて中止になりました。六年男子の記録があったので母の携帯を見ると、三キロメートルのマラソンで一位が十分十八秒と表示されていたのでおどろきました。でも、ほとくの三キロの最高タイムが十一分三十四秒で、百人以上から三十位は十一分五十秒くらいでした。出場していたら、ぼくは三十位以内に入れたことになりません。



(小六・TR君)

練習に真面目に取り組んできたからこそ、R君は参加できなかったことが無念だったのですね。「想像力」を働かせ、「もし、参加できなかったら」「もし、晴れたら」と残念な気持ちを上手に表現しています！

マラソン大会

私は疲れていながらも心の中で(やっただ)と叫びました。なぜなら、小学校最後のマラソン大会で五十四人中十人目の十位だったからです。

私は、去年のマラソン大会で、今年とはほど遠く二十六位でした。終わった後、お母さんに、「なんで友だちと一緒に走ったの?」と聞かれました。

だから、今年は、だれとも走らず、一人で走ることにしました。それで、十位以内に入ると約束しました。そして、ついにピストルの音がして、みんな一斉に走り出しました。私は、走り始めた時から十番目だったのでだれにもぬかされないでよかったと思いました。

一四二五メートルの距離は長かったけど、約束が果たせてよかったと思います。

(小六・SSさん)

印象的な書き出しで、喜びを生き生きと上手に表現しましたね。お母さんの言葉をきっかけに、全力を出せなかった去年のマラソン大会を悔い、今年自ら目標を掲げ、約束をし、見事に果たしたSちゃんの純粋さと強さに拍手です。

書き初め



おととい、学校で一時間目と二時間目を使って書き初めの練習がありました。六年生は「雪割草」と書きま

す。

この「雪割草」の中で一番難しい漢字は、「雪」です。なぜなら、雪は書く縦長になってしまっって、半紙の中心部分からずれたりするからです。雪という漢字の中で、とくに難しかった部分は、あめかんむりです。なぜなら、あめかんむりは、とめはねや、

点を書くときのバランスが重要で、書きつらくてきたなくなってしまうからです。

ぼくは、書き初めの練習を精一杯がんばりました。雪はとても難しかったけれど、なるべくきれいに書きました。

来年の一月に書き始めて大会があるの、うまく書けるように練習したいと思います。

(小六・WS君)

書道と真剣に向き合うS君の姿が容易に想像できますね。このように、難しきや苦勞を説明することで、懸命に取り組んだ姿勢を表現するテクニックは、是非見習いたいですね。

ピアノの発表会

今日、ピアノの発表会がありました。私は、幼稚園のころからピアノを習っているけれど、初めての発表会です。初めての発表会、そして、出番は最後なので発表会の前日からずいぶんちやうしていました。

そして、ついに私の番がまわってきました。

礼をして座ると手がガタガタふるえてきていっしゅん染ふをわすれるくらいさんちやうしました。ひきはじめて、さいごまで止まらずにひくことができました。たくさんのはく手をもらって、とてもうれしかったです。色々な先生方に、「上手だったよ。」と言われて、とても心に残る発表会でした。

(小六・KNさん)

Nちゃん、初めての発表会、頑張りましたね。緊張する理由、また緊張している様子を生き生きと表現しています。「緊張」→「安堵+達成感」と気持ちの変化も実に見事に表現されています！今月の優秀作品の中でも最も光る日記でした。

伊藤先生のおすすめ本

★低学年★

これはのみのびこ サンリード
谷川 俊太郎 著/和田 誠 行社

ちいさな「のみ」のびこ。声に出してリズムを楽しみたい1冊です。ほのぼのとした和田さんの絵も素敵です。

★★中学年★★

ネギをうえた人 岩浪少年文庫
金 素雲 編集

人間がネギを食べるようになったのはなぜ?ネコと犬がけんかするのはなぜ?おばあさんは悪いトラをどうやって追い払ったか、朝鮮民話33編を収録。

★★★高学年★★★

おじいさんのランブ 大日本図書
新見南吉 著

私が小学生の頃から教科書でも採用されている「こんぎつね」や「手袋を買いに」の著者新見南吉さんの作品です。幻想的なお話4編を収録。間違いない1冊です！！